

Interview 03

Osato Chikako

大里 千香子

ブロック長(マネジメント) / 2003年入社



イロイロな人との出会いが
今のわたしをつくっている。



5:00

起床・朝食と
お弁当づくり

6:00

メールチェック
をしながら
身支度

7:30

子どもと
一緒に出勤

9:00

仕事開始

17:30

退社・
子どもの
お迎え

19:00

帰宅・夕食

22:00

業務メール
チェックと
明日の準備

わたしの仕事

毎日、新しい発見と出会いがある

薬剤師としてキャリアをスタートし、3年目で薬局長になりました。そのあと、4年目でマネジメント職に就いてからはずっとマネジメント畑。今は8店舗のブロック長です。入社してから気づいたのですが、飽きっぽい私にひとつのことを極める薬剤師は向いてない。いろいろな店舗に行き、いろいろな人に会えるマネジメントの仕事が私にはピッタリです。

期待されると燃えちゃう

4年目のときに熱くて有名な上司のもとで、担当管内の研修プログラムを考えました。当時、人手不足気味の店舗の薬局長をやっている、部下の教育について悩んでいたのですが、「お前と同じように、きっと他の薬局長も悩んでるからやってみろ」と言われ、一念発起。どういったツールがあれば薬局長が薬剤師を育てられるか、その上司のもとで試行錯誤しながらつくりあげました。とても厳しい毎日でしたが、その上司との出会いがなかったら今の私はいません。

わたしから見たそうごう薬局グループ

社員が気づかないところまでシッカリ考えてくれている

とても経営のことを考えている会社なので、設備などに余計なお金をかけない。その分、福利厚生など社員にとって本当に必要なところに使ったりと、お金のかけ方をよく知っています。ローンを組むときに知ったのですが、自己資金率が高いから金融機関からの信頼も厚いんです。ただ、そのことに気づいたのはマネジメントになって、経営のことをちゃんと考えるようになってから。新入社員の頃は、そんなことわからないから、最新の設備も揃えてくれないなんて...とっていました。

もっと女性が働きやすい会社になれるはず!

就職活動中に、当時の採用担当者に育休について質問しました。まだ育休が一般的ではなかった頃です。すると、まだ取得している人は少ないけど、これからは必要な時代になるから、むしろとってほしいと正直に答えてもらえました。2人の子どもがいるのですが、もちろん産休も育休も取得。現場の仕事は大変ですが、子どもを含めた家族と理解ある仲間を支えられて、何とかここまでやってこれました。

ただ、不満がまったくないわけでもなく、働くママの大変さをリアルに想像できてない人もいます。子どものごはんをつくらせる家事コアタイムに電話をかけてくる人がいたり。もっと女性が働きやすい会社になれるはずだから、がんばってほしい。そのためにも、女性管理職をどんどん増やしていきたいです。

全国に行きつけのバーを

お酒を飲むのが大好き! 転勤先ではいつも行きつけのバーを見つけてきました。今だから言えますが、最初に出した転勤希望は、お気に入りのバーがあったからというのも大きな理由だったりします。結婚してからも、ひいきにしているバーによく行きます。仕事が忙しくなると夫が「子どもは見とくから、気分転換に行ってきたら?」と言ってくれるので。本当に理解ある家族に支えられて幸せです。

憧れは、のんびりした生活

ウッドデッキやサンルームのある一軒家でネコと日向ぼっこするような生活に憧れます。小さな夢ですが、そこで、自家製の梅干しにもチャレンジしたい。梅シロップは子どもが喜んでくれるから毎年つくってるんですけど、梅干しは干すときに雨が降ったらすぐに取り込まないといけないからなかなか。さすがに、梅干しのために休めないし。

趣味は、人の趣味に付き合うこと

自分の趣味をもつより、人の趣味に付き合うのが好き。夫や子どもと一緒に釣りに行ったり、サッカー観戦したり、実家の両親と一緒にキャンプしたり。人の趣味に付き合うことで、自分ひとりだったらやらなかったことに挑戦して、世界が広がる感じがいいんです。



ホントはゆっくりしたいけど
気がついたら動いてる。



同期から見た大里さん

私にないものをたくさんもっている。

齋藤 慶聡(グループ会社社長/2003年入社)

芯の強さやマネジメント力、リーダーシップ、あとはお酒の強さかな。かなわないことだらけで尊敬しています。ライバルというより戦友という感じで、働く場所は違うけど非常に刺激をもらっています。お互いマネージャーになりましたが、入社当時と変わらず大きく前向きに夢を語っていきける仲間です。これからも、常に志高くがんばっていきましょう!

